



2014 年 12 月 8 日

株式会社カカコム

あなたが選ぶ 2014 年の外食トレンドは？（回答者数：16,398 人）**2014 年、消費者が最も注目したのは「熟成肉ブーム」！****「パンケーキ」、「『俺の』系列レストラン」の人気はいまだ衰え知らず
新たなトレンドとして「ランチパスポート」「高級ポップコーン」に注目が集まる**

株式会社カカコム（東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 実、東証コード：2371、以下カカコム）は、同社が運営するランキングとクチコミのグルメサイト「食ベログ」において、今年 2014 年の外食シーンを振り返って話題となったメニューやトレンドに関するアンケート調査を実施しました。

全国から寄せられた 16,398 名の回答を集計した結果を一部抜粋してご紹介します。

～調査トピックス～

◆昨年同様、認知率・注目度ともに高い「パンケーキ」・「『俺の』系列レストラン」。今年台頭したのは、「高級ポップコーン」「ランチパスポート」。ドラマで話題の「ウイスキー」も上位に

「パンケーキブーム」「『俺の』系列レストラン」は認知率が 6 割を突破、注目度でもトップ 3 に入り、今年も引き続き外食トレンドの目玉に。今年新たに話題となった「高級ポップコーン」や「ランチパスポート」、ドラマ効果で話題の「ウイスキー」なども高い認知率を獲得。

◆最も注目された外食トレンドは「熟成肉ブーム」

海外の有名ステーキ店の日本初上陸、大手外食チェーンにおけるメニューへの導入などで、以前より身近に楽しめるようになった「熟成肉」が、「『俺の』系列レストラン」（14.3%）「パンケーキ」（10.7%）をおさえてトップ（18.2%）に。

◆男女別の注目トレンド：男性中心は「熟成肉」「ウイスキー」「ちょい飲み」、女性中心は「パンケーキ」「ランチパスポート」

「熟成肉ブーム」（男性 20.7%・女性 13.8%）は男性中心、「パンケーキブーム」（男性 6.6%、女性 18.1%）は女性主導であることが明らかに。その他、「ランチパスポート」は女性、「ウイスキー」「ちょい飲み」は男性からの得票が多い結果に。

◆その他 気になるトレンド：日本酒、ブルーボトルコーヒー、アサイー、ジビエなど

選択肢にない外食トレンドをフリーアンサー形式で尋ねたところ、「日本酒」「ブルーボトルコーヒー」「アサイー」「ジビエ」が特に目立つ結果に。「日本酒」については、世界的な日本食ブームに連動した人気の上昇について言及するコメントが複数寄せられました。また、「ブルーボトルコーヒー」は“コーヒー界の Apple”とも称されるアメリカで大人気のコーヒーショップで、来年 2 月に日本第 1 号店がオープンする予定となっていますが、すでに注目を集めている模様です。

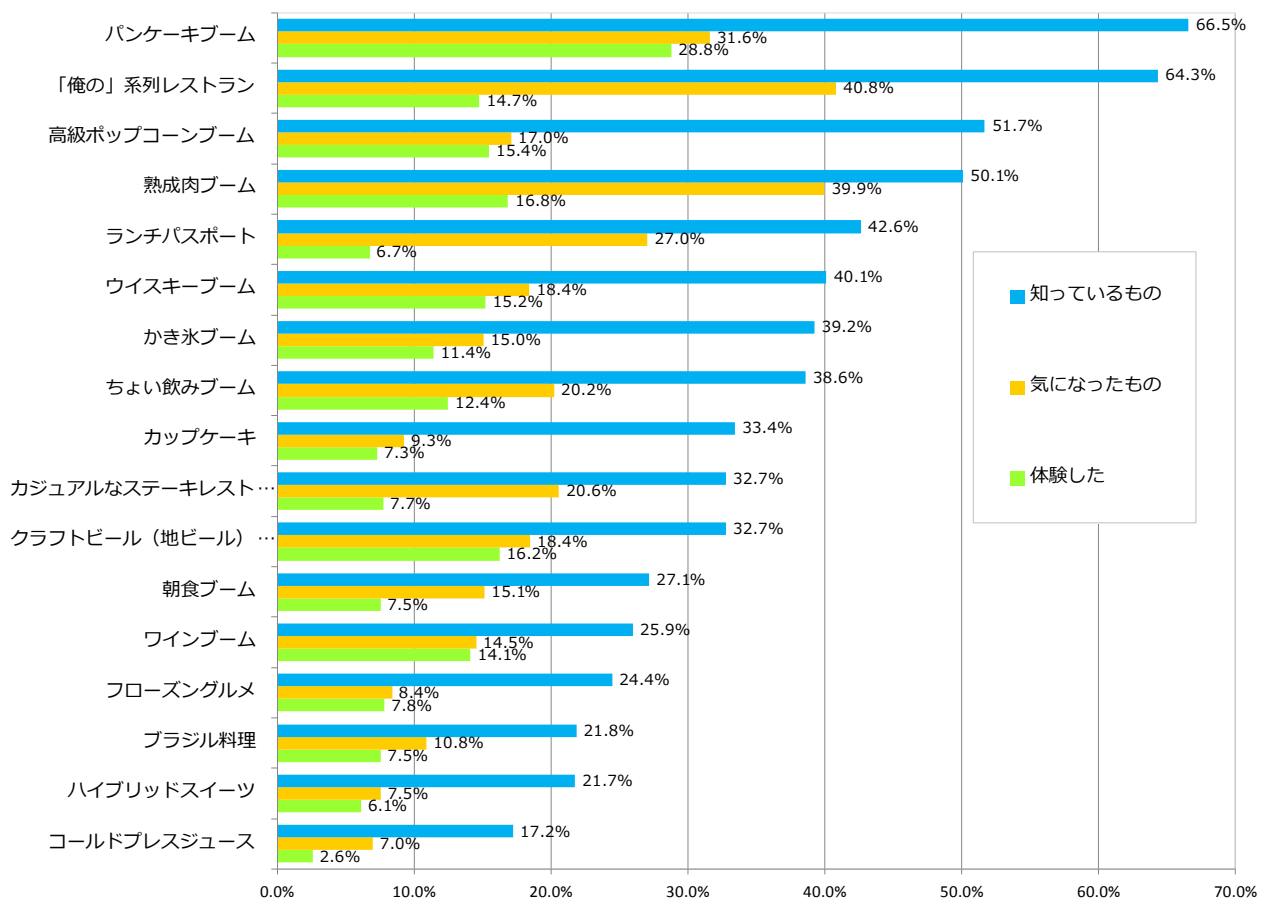
◆昨年同様、認知率・注目度ともに高い「パンケーキ」・「『俺の』系列レストラン」。2014 年に台頭したのは、「高級ポップコーン」「ランチパスポート」。

昨年実施した同様の調査（*2013 年 11 月実施「2013 年外食トレンド調査」）において圧倒的な存在感をみせた「『俺の』系列レストラン」「パンケーキブーム」は、認知率で 6 割超え、注目度でもトップ 3 に入るなど、今年も引き続き外食トレンドの目玉となりました。「パンケーキ」については、原宿・表参道エリアの人気店が、東京郊外・関西圏・九州圏などに進出したこともあってか、“体験した外食トレンド”としてもダントツ（28.8%）の結果となりました。

また、今年新たに話題となった「高級ポップコーン」は、「パンケーキブーム」（66.5%）「『俺の』系列レストラン」（64.3%）に次ぐ高い認知率（51.7%）を獲得。その他、高い注目を集めたのが「ランチパスポート」（27.0%、注目度 4 位）で、注目度が高い一方、「体験したもの」としては低位（6.7%、17 項目の中で 15 位）にとどまることから、今後の動向が注目されます。

なお、NHK 朝の連ドラ「マッサン」のヒットで脚光を浴びている「ウイスキーブーム」も、認知率においては 40.1%と上位に位置しています。

【1】2014 年の外食シーンにおいて話題となったメニューやトレンドについて、「知っているもの」、「気になったもの」、「体験したもの」それぞれの回答を一覧にしたグラフ（すべて複数回答 n:16,398）

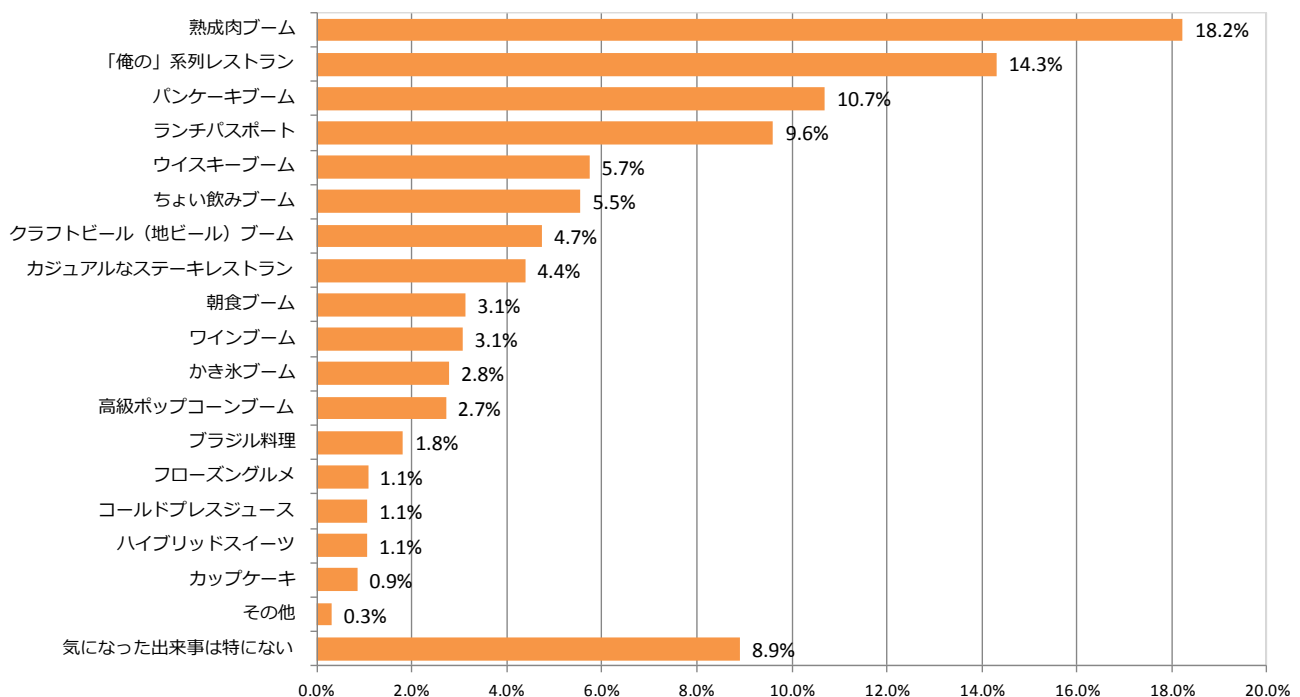


※比較の都合上、選択肢「その他」「知っている出来事は特にな」「気になった出来事は特にな」「体験したものは特にな」については、グラフから除いています。

◆最も注目されたのは「熟成肉」！『俺の』系列レストランも引き続き高い注目度

2014 年の外食トレンドにおける「気になったもの」の中から、「最も気になったもの」を単一回答で選択してもらったところ、トップは「熟成肉ブーム」（18.2%）となりました。今年 2 月にニューヨークの名店「ウルフギャング・ステーキハウス」が日本初上陸、また熟成肉料理に定評がある関西の名店が東京に進出する動き等もあり、各種メディアでも頻繁に「熟成肉特集」が組まれました。さらに「ロイヤルホスト」や「吉野家」といった大手外食チェーンでも熟成肉メニューの提供が拡がり、さまざまな形で熟成肉を楽しめるようになったことも一因といえそうです。続いて 2 位となったのが『俺の』系列レストラン（14.3%）。今年は「俺のフレンチ・イタリアン」などの店舗数拡大に加え、3 月におでん『俺のだし』、6 月に『俺の揚子江 銀座 4 丁目』、9 月に『俺のスパニッシュ』など新ジャンルが登場、さらに銀座の新商業施設「KIRARITO GINZA」に初の全席着席式の店舗「俺のフレンチ TOKYO」「俺のイタリアン TOKYO」もオープン。年間を通じて注目を集めました。

【2】今年 2014 年の外食シーンにおいて話題となったメニューやトレンドで、**あなたが最も気になった出来事を 1 つお選びください。**（単一回答 n: 16,398）

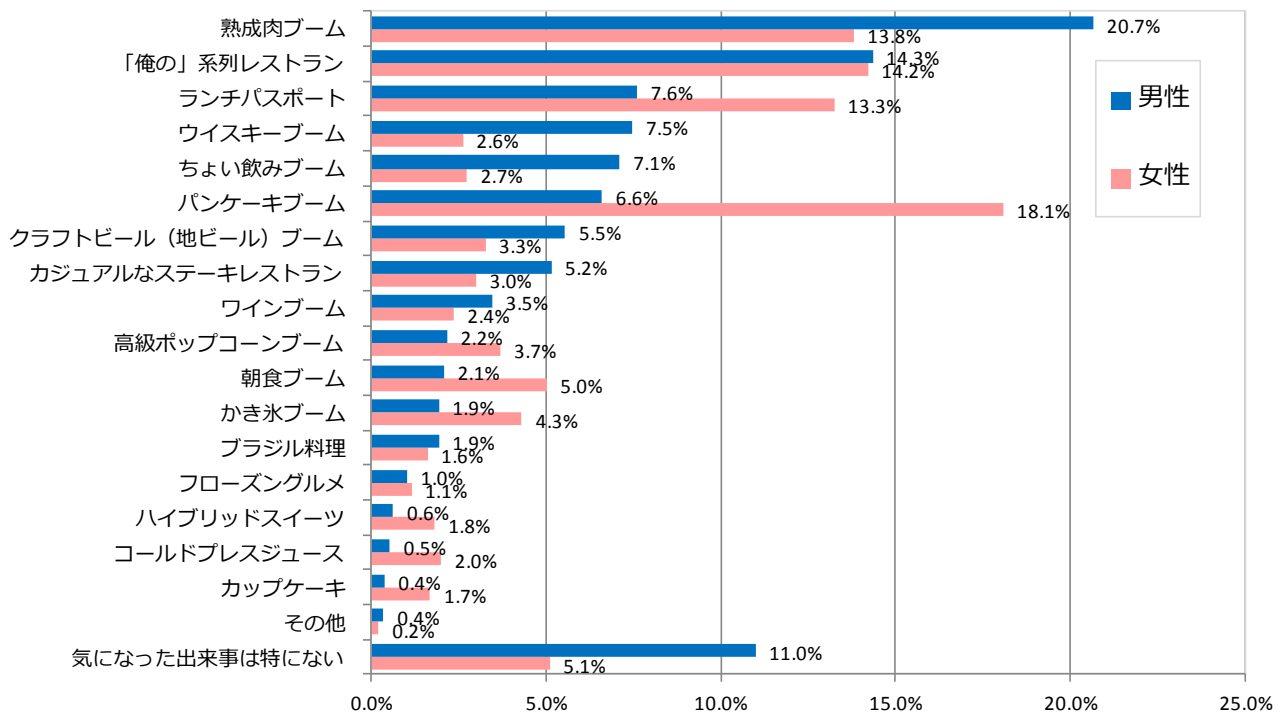


◆男女別の注目トレンド：男性主導の「熟成肉」「ウイスキー」「ちょい飲み」、女性主導の「パンケーキ」「ランチパスポート」

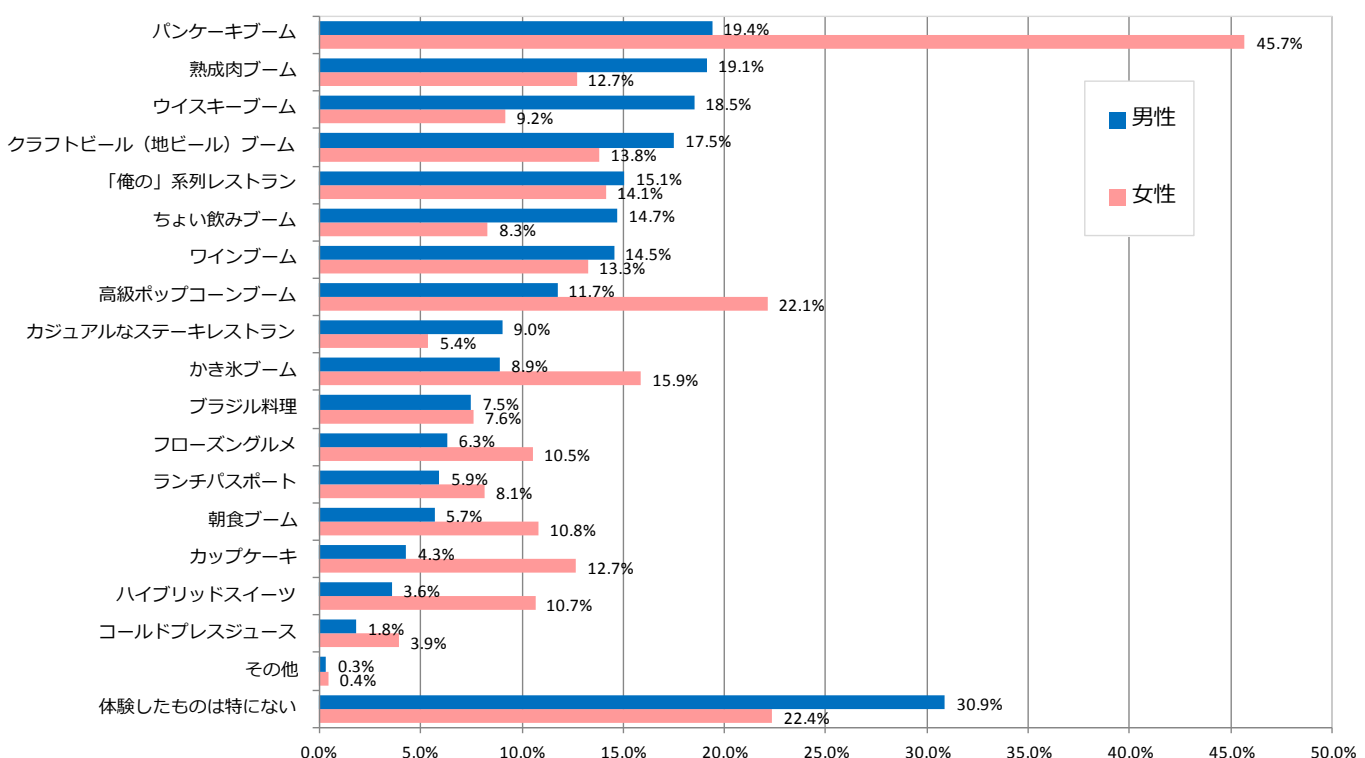
最も注目した外食トレンドについて、男女別で比較したところ、回答者全員の集計でトップだった「熟成肉ブーム」は、「男性 20.7%・女性 13.8%」で、男性主導のブームであることがわかりました。性・年代別でみると、30 代、40 代男性からの注目度が特に高い結果に。一方、「パンケーキブーム」は、注目度が「男性 6.6%、女性 18.1%」、体験率が「男性 19.4%、女性 45.7%」と、明らかに女性主導であることがわかります。性・年代別では、20 代女性（23.9%）を筆頭に、30 代女性（19.9%）・40 代女性（17.1%）の注目度が高く、体験率も 20 代女性は 56.9% で 6 割に迫り、30 代女性（49.2%）と 40 代女性（43.6%）も半数近い割合となっていました。また、男女共通で注目度の高い『俺の』系列レストランについては、体験率は 30 代・20 代の男女が高い一方、注目度では 40 代男女と 50 代以上の女性の割合が高く、今後の顧客層の拡がりを感じさせる結果となっています。

そのほか、男女差が大きかったのは、「ランチパスポート」（男性 7.6%、女性 13.3%）、「ウイスキーブーム」（男性 7.5%、女性 2.6%）、「ちょい飲みブーム」（男性 7.1%、女性 2.7%）など。また、「高級ポップコーンブーム」「かき氷ブーム」については、注目度はさほど高くなかったものの、女性の体験率が高く、評判次第では今後のさらなるブームを予感させる結果となりました。

【3】2014 年の外食シーンにおいて話題となったメニューやトレンドに関して、あなたが最も気になった出来事を1つお選びください（男女別）（単一回答 n:16,398）

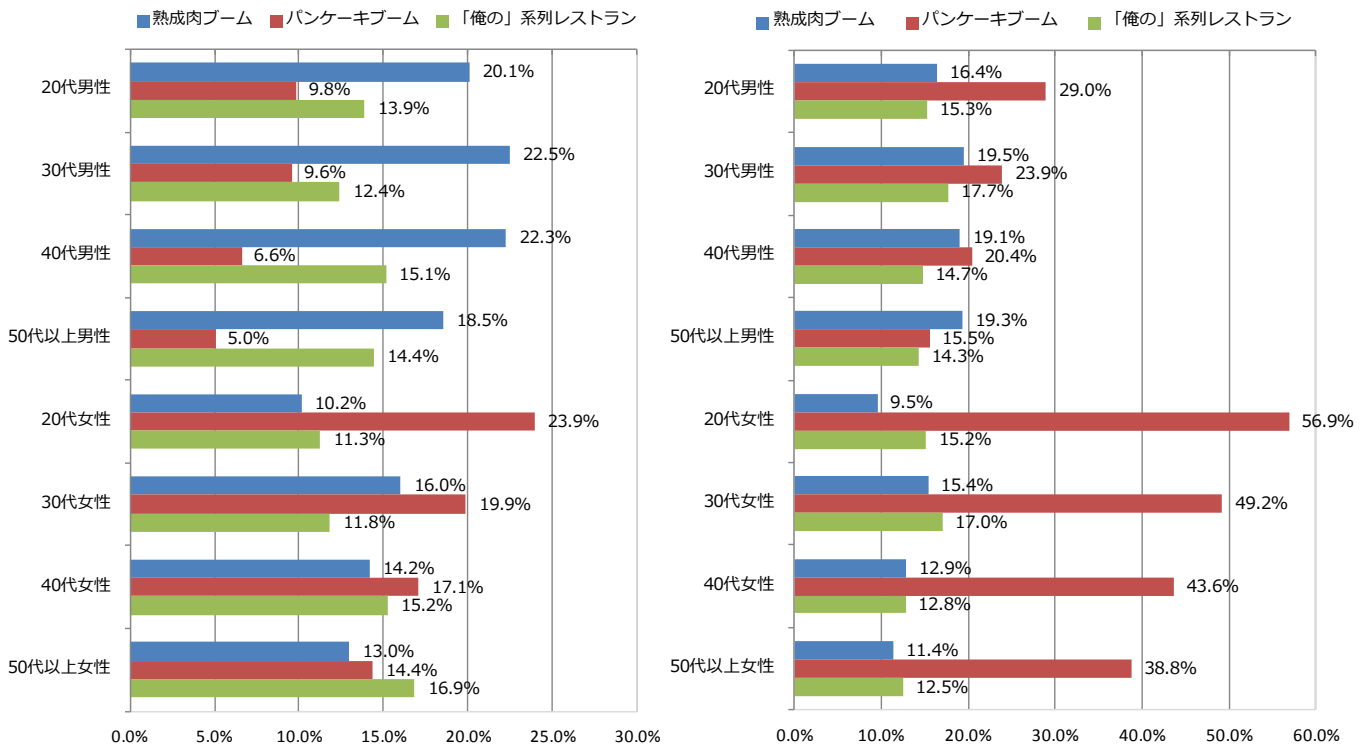


【4】2014 年の外食シーンにおいて話題となったメニューやトレンドに関して、あなたが体験した出来事を全てお選びください（男女別）（複数回答 n:16,398）



【5】左：最も注目した 2014 年の外食トレンド（男女・年代別 単一回答）

右：体験した 2014 年の外食トレンド（男女・年代別 複数回答）



選択肢に関する補足事項（アンケート実施の際、選択肢の補足情報として、以下の説明を記載しました。）

選択肢	補足説明
“ちょい飲み”ブーム	仕事帰りに軽く飲んで帰るといふ“ちょい飲み”がブーム。大手ファミレス、牛丼チェーン「吉野家」、ラーメンチェーン「日高屋」などが“ちょい飲みスポット”として話題に。
ウイスキーブーム	NHKの朝ドラ「マッサン」のヒットで、「ハイボールブーム」以来のウイスキー人気が再燃。ウイスキーのアレンジメニューを展開するレストランも登場。
クラフトビール（地ビール）ブーム	日本各地でクラフトビールを扱うレストランが増加、ビアフェスも多数開催。また、キンピールとクラフトビール最大手ヤッホーブルーイングの資本・業務提携など、経済ニュースでも話題に。
「俺の」系列レストラン	依然行列が絶えない立食スタイルの人気シリーズ店。今年は「俺の揚げ江」「俺のスパニッシュ」などが新たに登場、さらに銀座には全席着席式の店舗もオープン。
熟成肉ブーム	ニューヨーク発「ワルフギャング・ステーキハウス」が日本初上陸。地方で熟成肉を手がけるお店が東京に進出する動き等もあり、メディアでも頻りに「熟成肉特集」が組まれました。
カジュアルなステーキレストラン	「いきなり！ステーキ」に代表される、ステーキを量り売りでリーズナブルに提供する立ち食いスタイルのお店が人気に。
ブラジル料理	FIFAワールドカップ ブラジル大会にちなみ、「シュラスコ」「フェイジョアード」をはじめとするブラジル料理に注目が集まりました。
朝食ブーム	朝限定の“生ハム食べ放題”でエキュート品川「バルマルシェ・コダマ」が話題に、横浜では「朝食フェス」が開催、大阪ではグラノラや食パンの専門店が人気となるなど、各地で朝食メニューが脚光を浴びました。
パンケーキブーム	今年も行列店が続出。新店オープンも盛んで、「モエナカフェ」が原宿・京都に、「カフェカイヤ」が「イクスピアリ」に、「エッグスシングス」は京都・神戸・福岡に進出しました。
カップケーキ	ニューヨークの人気店「マグノリアベーカリー」が6月に表参道に日本第一号店をオープンした他、ミスタードーナツが「N.Y.カップケーキ」を期間限定で発売し話題になりました。
“ハイブリッドスイーツ”	クロワッサン生地をドーナツ状にして揚げた「クロナッツ」に代表される、2種類のスイーツを組み合わせた新種スイーツが人気に。「クレーグル（クロワッサンベグル）」「ビスケットサンド」なども登場。
高級ポップコーンブーム	昨年オープンし大行列となったアメリカ発「ギャレットポップコーン」を機に、海外の高級ポップコーン専門店が原宿・表参道エリアに続々上陸。個性的なフレーバーや独特の食感が評判に。
コールドプレスジュース	低温圧搾ジュースで作るジュース。栄養価が高く、美容・健康にも良いとされ、東京・代官山エリアを中心に専門店が続々登場しました。
ワインブーム	日本のワイン消費数量が過去最高となるなど「第7次ワインブーム」が到来。国産ブドウを100%使用した「日本ワイン」やアメリカやチリなどの「新世界（ニューワールド）ワイン」に注目が集まりました。
かき氷ブーム	従来のかき氷とは一線を画する豪華な盛り付けや独特の氷の食感を楽しめるかき氷が大ブームに。東京・谷中の「ひみつ堂」など、かき氷専門店には連日行列が発生。
フロズングルメ（フロズンビール・ワイン・ヨーグルトなど）	人気のフロズンビールに続き、今年はフロズンワイン・ウイスキーなども登場。スイーツ分野ではフロズンヨーグルトに注目が集まりました。
ランチパスポート	掲載されたお店で提示すると、通常1,000円前後のランチが500円で食べられる本として、全国約50エリアで発売。売り切れるエリアが発生するなど大ヒットしました。

【調査パネル】

調査エリア：全国

調査対象：食べログ ID 登録ユーザー

調査方法：メールマガジンによる調査

回答者数：16,398 人（男性 10,559 人、女性 5,839 人）

調査期間：2014 年 11 月 18 日～2014 年 11 月 21 日

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が 100%にならないことがあります。

「食べログ」概要

「信頼のできるレストラン選び」をコンセプトに 2005 年 3 月開設。全国 47 都道府県に対応し、ユーザーから寄せられたクチコミと点数評価から、独自に設けたロジックでレストランランキングを算出し、提供しています。

- ・点数について：<http://tabelog.com/help/score/>
- ・口コミ、ランキングに対する取り組み：<http://tabelog.com/help/policy/>

掲載レストラン数：約 79 万件、クチコミ投稿数：約 575 万件

月間総 PV：14 億 0,514 万 PV、月間利用者数：6,075 万人（内訳）PC：2,453 万人、スマートフォン：3,509 万人、フィーチャーフォン：113 万人（2014 年 9 月実績）

▼『食べログ』SNS 公式アカウント

Facebook：<http://www.facebook.com/tabelog>

Twitter：<http://twitter.com/tabelog>

▼料理写真共有アプリ「食べラ」

iPhone 版：<http://itunes.apple.com/jp/app/id452983007?mt=8>

Android 版：<https://market.android.com/details?id=com.tabelog.camera>

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「食べログ」調べ
- ・ランキングとクチコミのグルメサイト「食べログ」が実施した調査によると…